

団・隊指導者の重複登録に関するガイドライン（修正）

「重複登録」については、団指導者・隊指導者が団だけでなく、地区や県連盟の役職に就くこと、およびローバースカウトが大学ローバー隊と地域団（原団）ローバー隊と重複して登録し活動することを前提とした制度であり、スカウトの成長支援に対する責任という観点から、それ以外については重複登録をしないことを基本としています。しかしながら、場合によってはやむを得ない事情により、重複登録をせざるを得ない状況があるため、ここに重複登録に関するガイドラインを示します。

1. 同一団内での重複登録

- ① A隊の「隊長」とB隊の「隊長」の重複登録はできない。
- ② A隊の「隊長」とB隊の「副長（副長補）」の重複登録は、やむを得ないと地区コミッショナー認めた場合、A隊隊長を主登録として登録ができるものとする。
- ③ A隊の「副長」とB隊の「副長（副長補）」の重複登録は、やむを得ないと地区コミッショナーが認めた場合、主として活動する隊の副長を主登録として登録ができるものとする。
- ④ 隊指導者と団委員の重複登録はできない。

2. 複数の団にまたがる重複登録

- ① A団において、隊指導者（隊長、副長、副長補のみ）、団指導者（団委員長、団委員）のいずれかの役務である場合は、他の団（B団）との重複登録はできない。
- ② ①の例外として、A団の隊指導者および団委員の子供がB団に属している場合、B団の育成会からの要請により補助者、デンリーダー、団委員の任に就く場合は、双方の団委員長の協議により、重複登録をすることができるものとする。ただし、2つの団で同じ任務に就くことはできない。この場合の主登録はA団とする。
- ③ デンコーチについては、団をまたいだ重複登録はできない。

3. 大学ローバー隊（団）と地域団との重複登録

大学ローバー隊（団）の指導者の地域団との重複登録については、次の条件をすべて満たした場合に認めるものとする。

- A) 地域団の団指導者（隊長・団委員長を除く）が、大学ローバー隊（団）の隊長として重複登録する場合は、大学ローバー隊（団）を主登録とする。地域団の隊長および団委員長は、大学ローバー隊の隊長として登録できない。
- B) 地域団の団委員および隊長を除く隊指導者である場合は、地域団の団委員長および所属隊の隊長、並びに大学ローバー隊（団）の団委員長の同意があること。
- C) 県連盟コミッショナーの承認を得ること。

4. その他

- 1) この規定に該当しない場合についての対応は、
 - ① 地区をまたがない場合は、地区コミッショナーに協議の上、対応することとする。
 - ② 複数の地区をかかるとは、双方の地区コミッショナーおよび県コミッショナーに協議した上で対応することとする。
 - ③ 複数の県連にまたがる場合は、別途協議をするものとする。
- 2) 団委員会においては、団および各隊の健全な運営のために、重複登録の解消に努めなければならない。
- 3) このガイドラインは、平成 23 年 1 月から適用する。
- 4) 平成 22 年の日本連盟教育規程に合わせて文言の修正をした。（H22.12.4）